



四季混雜不分坐順

伊勢

山田

唐繪のも假名にきく柳

麥林豊

まら直に梅るる日お早き

麥浪

花やまゝ所にさおもき

如之

あまらぬ一本つたさくら

寸童

半のあつるもきく如多

浮石

あまも雨乃葉山にけ

左竹

あまらぬわさつと自見の

茶菊

を山と穀の減るる

入楚

乙女子乃... 子  
 梅... 元山  
 誰... 何龍  
 科... 季覽  
 秤... 梅幾  
 卷... 南李  
 惠... 松坂  
 馬... 文集  
 子... 周行

黒木賣 四日市

夢乃... 萩妙  
 喜... 仙夫  
 豊... 塊州  
 蚊... 鷓州  
 維... 碓史  
 那... 津  
 二... 二日坊  
 林... 林可  
 民... 民古  
 青... 青布

蝶々 蝶々のかきまゝ 牡丹小  
初雪やいづこか うちい毎の露  
秋風乃らうも ちあまも ちる 露の  
晴草にいづれ 乃にぬ 蝶々  
順礼乃 唄 明くせし ちるれま  
新かゝる 口小 流り ちるの 筆  
けまやう ちる 音に ちる 響り  
除くちる 除くちる 初時雨  
聖安乃 梅お ちる 喜乃 人

亀山

其阜

分路

伸二

砂丈

其邑

不潜

兎石

樗良

宗居

稻妻や ちる 蝶々乃 ぼの ちる  
あつちる ちる ちる 乃 庭  
匠屋におの ちる ちる 乃 系  
汲くちる ちる ちる 乃 水 絆  
秋にまゝ ちる 乃 ちる 子  
ちる ちる 乃 ちる 乃 喜  
かゝる ちる 乃 ちる 乃 喜  
かゝる ちる 乃 ちる 乃 喜  
かゝる ちる 乃 ちる 乃 喜  
かゝる ちる 乃 ちる 乃 喜

宇治

可信

菜名

元籌

一身田

麥士

白塚

四松庵

為秋

梅隠

松波

不炊

空晴くそ乃砂新 柳のち  
ふし雨傘も扱ふもりり  
今銀乃砂也あゝ乃川  
明らき火のとも座のつ穂乃意

王垣 仙杏  
須川 路楓  
五味塚 素月  
無三

今

伊賀

吟の小橋もさすれち  
時をふい出つるひき那  
口切也若々たる梅の意  
去るは秋也ゆる程梅の意

城下 桐雨  
上野 一眠  
桃照  
桃五

好怪とまげとあせぬ屋敷  
陽ちかきあたるはりり

李青  
松舟

全

美濃

晴きりくささう之事蓮の意  
ふれ小文もさす月今音  
生榮に橋もまはは圍炉裏の意  
お梅おきさしとてさし  
流るる水はのきもさすれ  
そらも今もこのはさる路

黒野 以載坊  
徳田 葉汎  
大垣 楚琉  
岐阜 隆五  
友学

中刺さるる路中極く冬乃星  
乞食乃火を焚く居る枯野の春  
朝心とる月を礎乃子ゆりや  
葉乃是也とて山とて採るるつる年  
涼くさ歩を戻しと漸乃とる也  
昔乃毒味ハ古しぬ清くさる也  
雛子唱也朝て朝日乃揚歌前  
春の如くもあれに海士、春  
暮れ也今朝もあれとて嘆じり

笠松  
其水  
文度

加納  
燈五

中津川  
洲波

藤朴

芦因

三壺

如好

釜戸  
白兔

取梅也あほりてとて  
ありてとて山とて梅りてとての春  
十之和とてあはれ乃とて  
とて井乃とてとて動いぬ早とて  
一とてとてとて乃とてとてほとて

文呂  
東隱

暮三

風後

里通

今 大和

吹飯乃ぬくを母のしり

天蓋町  
宵眠

風如波のしりてとて

奈良  
鷺溪

夏とてとて富士とてとて越とてとて乃友

高田  
廣竹



野をよこしに筆をふるはけり時ふ  
夏月也海士乃安とも有りし九  
意をよこしに歌をふるはけり  
淡々をふる如想婦乃名屏風  
之乃海にふるはけり  
幸近もありしや乃ありし山  
空もあつた日向ふをふるはけり  
思ふありしやふるはけり  
ひらりほにふるはけり

湖東  
桃林

堅田  
未角

日野  
鷺石

鳥井本  
桂角

多駕  
歌計

白常

大津  
鹿佳

栗津  
應澄

雲裡

全

紀伊

和哥山

蝠老人

楮林

君艸

梅春

左江

風後

一音

冬推

雪やふるはけり小無へ丸ありし  
梅照也神乃ふるはけり星月歌  
極先へ蜘蛛にけり因縁のち  
雪乃ふるはけり枝にけり  
雪乃ふるはけり余所にけり  
此ら後ふるはけり小無へ丸ありし  
顔のふるはけり歩の涼の南  
雪乃ふるはけり人通にけり



苗代マシヨク時 蟻も二河之川  
青もきぬ流るるも 如もるる 新  
千おにさるるりもるるも 早もさるる  
中子也一日ふく 流家乃 乃  
涼一さ也 麻もさるる 流多 陰  
全 山城

昨水 哥竹 文魚 孤竹 梨風  
蝶夢 諸九 菅女

虫乃青也 風凰堂 如 控あす 起  
梅も青也 むく 流 紗 流 佛 棚  
桐乃青也 如きく して 疾く 時 多  
古く 一 柳 流 磁 乃 あ 道 小  
水も 日 如 一 一 一 乃 岩 戸 多  
今 攝津

風枝 常辰 大阜 秋風 能場  
大立 大坂 鴻池 伊丹 雲郷

大坂 鴻池 伊丹 雲郷

明しんを己よるる かの幾入のち  
喜乃野く投うちをまふ 雲あゝる  
結あゝるまにひん 郭一  
雪乃や也常てまものも 牡丹  
あゝるるを乃あゝるも 藝一ツ  
袖汐や系多々 小堀乃山あり  
あゝるるまゝ ち稽乃柳うま  
まゝの扱にひさるるまゝ 小  
蛤乃久いぬかひ色 入り、南

高月 舞巾  
亭壺

茨木 州二  
里杖

江北 倭聞  
如瓶

御風  
南畝

石鯨

麦粉や古紙をさへ 草束乃下  
今日とちや地りお合ふ 茶乃傘  
梅咲か今もあゝるも ぬれゝ  
桃乃さや解るゝ 妙乃う  
又まゝに死んゝ 山さゝ  
あゝるる河内より 聖のふか  
今年と十日 雁らんか 松  
おまや鶴乃ほゝ 茶 賣  
お梅や茶とさる 樹とふは ぬる

昆陽庄 古屑

菱花

莫岐

高津江 孚俗

五日市 柳司

台物

兵庫津 蘆洲

江東 舞雪

福原 沙月

室吹如已の藤おもむく音  
白梅如雪乃中一なるくくい歌  
有らぬ露矢ちりりわなわなき  
今朝露の一もなきも乃態なき  
十月乃雉もきりりわなわなき

鳥養 連史

江南 晚鈴

西宮 秋庵

青魚

似鳩

全 播磨

岨傳ふ行者あまのそよ乃岨  
芽柳如朝日に輝く 瑞雪一羽  
朝顔如日乃二之間あうりさき

姫路 寒鳥

東島 蒔磨

南壁

鴨くりやそよも神代乃鈴の音  
松乃葉に一転泊るる落葉小  
晴くくのそよ乃竹あやわさき  
夕風はあけり夕日乃不日紅  
笹の葉乃よれを度く 夕涼  
ももあけ乃竹ちりりわなわなき  
全 和泉

明石 竹子

西岡 水順

大久保 賤車

中尾 夢古

如古川 舎来

山李坊

和泉

堺 了合

鹿土

雨くちやまをぬく一乃 鳥取 一櫻  
るる見ればさきくさくさ馬鹿 尾崎 温古  
あまたくも 神代乃茶女ニ系小 谷川 千女  
門松をえ競へまのくさく先小 卧石

今 加賀

清き月や疎ふり人さ悟くくは 津幡 見風  
目さ水の中乃 舞静さり 金沢 麥水  
三系島也 妻藤に松く 桑中 尼 素園  
い川きくく 舞乃くく 一さる 喜の月 女 ずえ

山路也 煙乃中にむえの系 平井川 蘭更  
蜂乃喜女はほも秋のきくさ 呉父  
麻も物屋くさあわくさ見小 可枝  
秋立くく 晴毎乃あくく 金沢 梅門  
松山乃中にくくく 雲亭  
白雨乃系女くく 菱莪  
麻乃喜女くく 後川  
青嵐き海系乃きく 大聖寺 紫狐  
栗乃系自乃 小松 竹至



涼くさか榎乃古葉の影さうけ  
岩はくさくさもさくさく喜日りち  
朝霧に小萩をさくさく垣根りち  
岩角乃な浅眼小さか萩乃さ  
さかかみ隣りも持ぬ雨萩のち  
うさく萩乃悔し萩原のさくさく  
灯乃舞もこぼさくさめさくさ  
霞うさくさ杖賣茶屋の山さくさ

全

常陸

水戸

画川 畠浪 鶯柳 孤船 指月 桃岸 見龍 西五

浮舟かさくさくさく合飲乃下  
楳に飛ぶさくさく津くさくさく  
萩乃飛くさくさく梅のさ  
蝶に飛ぶさくさくさくさく  
半輪乃あかか八日か月さくさ  
葉さくさくさくさくさくさく  
蜻蛉か糸にさくさくさくさく  
詩をさくさくさくさくさくさく  
入さくさくさくさくさくさく

馬喰所 向町 笠間

麥洲 芳醉 文江 蘭茂 浮来 緑扇 沾緑 砂明 三日坊

枯木乃すけぬ力也今朝乃雪  
象多世乃蔓にほるれく程飄  
唯り流小流お里也維子の喜  
折人に垣乃踏もぬふ聖りち  
葉多ふ世乃日朝了きれ牡丹小  
蝶く乃魚と拵やうたはる  
山明也八重と一重乃箇井一箇  
八ッ栴をねも見ふ出れ堂うち  
明月也露ももる乃急きくた

完戸  
津連  
露夕

素雅

蘿徑

遊之  
其白

露石

指月  
五雲

池邊乃雪もいそし乃ふの力

池之邊  
仙郎

川乃雪もいそし乃ふの力

村松  
松坡

苗伐也勤うぬもに舞乃朝

棹雪

潑持くももるちあり夕涼之

市中

赤帯一乃蔓より細く拵る

北川  
左右

外に雪ももるちあり夕涼之

潮来  
籟如

福もあも菊田にもも夜の月

龜峯

庚子もも拵るお賣高蒲うち

卧涼

全 上野

多仙也旭小房家葉乃云子利

大間

百丈

九重乃如の紐さく麻子の手

知牛

水もたつねく房もそのの

素簾

涼如也麻多にたむ蝶乃喜

筆保

一正といかに刈出さ清も小

安中

瑞千

新法師も名をぬ林也か人二名

陶々

清也精小懐とさりさるく

前橋

文魚

山ももい上戸也桃乃酒

前橋

麻人

あさうゆ也葉乃経い冬蔓に如

女

星露

余の那もむさくはすく

桑佐

木はまも石小葉もい葉も甘

素嵐

蝶も清もいり並乃名

素三

け好もいりもいり梅乃名

素丘

くもいり女もいりまもいり梅小

サカイ

只聴

さくもいり人乃梅もいり清も小

茂畔

鷹乃追子小もいり柳の喜

吉井

岸松

蝶も木根に鳴也もいり見は

松且

歩烟乃鞭く除まもいり時白

其蝶



行披に何馬ね〜也隔〜系  
 淋〜ふ疎先生〜りり初孫系  
 晴〜しにい〜る葉ふ成木の芽外  
 き〜しれに控〜るるり冬乃月  
 房〜時も〜いふ〜山を丸良  
 あ〜鐘乃志ま〜りか減也初時雨  
 静〜さや飛〜く志賀に桃乃舞  
 須鐘にき〜るをよき家乃雨  
 蛙子乃ま〜に飛舟人〜とま〜

高崎女 一紅  
 藤丘市 箕由  
 伊勢崎 迂生  
 笑風

ほ〜〜とま〜何も魁まぬ〜い外  
 け〜〜のあもま〜れり停地朝  
 水乃湖ま〜に山〜啼〜手〜菴  
 條川乃日初にや〜る雪解外  
 おら〜さ〜り〜人〜ありふの足  
 ね乃りもち〜ぬ〜地や〜〜鯛  
 岸や朝の冒にま〜し〜夜〜温  
 山明や夜も〜る〜も〜流〜り  
 菊山もや朝乃たり〜る〜さ〜

金井淵 暁雨  
 高井 燕飛  
 惣社 如鶴  
 下仁田 字雪  
 柳雪  
 亀岡 反哺  
 小島 霞城



訪ぬらう瘦く新車くちやうき  
常々まじりてさうわくはくはり  
室さくくさのね乃雨おぼくさす  
耳たかに豆まきまきす  
お粘に湯中乃扇の 氣のま  
今も形さくくさのり 小ねね  
切張乃古実に麻く 糸  
おくくさのま乃糸さく 星くさ  
色くくさのまもむりく 也山さく

敬林

芥久

百尺

始白

青雨

塞野

馬六

石泉

蒼々

櫻野

朽木町

石所

おくくくくくくくくくくくくくくく

露休

鈴形にあさる谷乃夜まき子小

佐野天明

非石

静さく尾急く月乃明のり

正菊

袋くもさくを焚くくくくくくくくく

越名

杜川

糸乃さく下張くあさる晴の上

鳥門

左範

おまねんておねまきくくくくくく

鳥山

紫林

見くぬけくお奥まきく 術 月

梅里

常乃さくあさるあさる今々年休

足利

潭蛟

見く度に物瓶乃さくお相のま

帯河



葉もろねぬふもき古也山さ

銚子

関二

きつもとふささささや五月雨

荻上

雨漏ぬねねささささささささ

魚生

ふんちささささささささささ

其風

尾もろねふねりやさしあし

魚山

藤也松乃さしあさささささ

弄船

水倉にささささ川也さささ

野曾

青郊

本塚にさささささささささ

柴花

降もろね磨とめささ今日の雪

小川

遊之

ささささ海ささささささ

兎石

全

越後

名古乃橋ささささささの川

高田

泰龜

本もろねささ海乃ささささ

和水

浮もろね乃ささささささ

至玉

藤也さ子乃ささささささ

江雨

人もろね何れささささささ

左郎

葉もろねささささささささ

畝波

さささ乃後小月ささささ

宴池

杜父魚 鳴 人 山 暮 暮 暮 暮 暮  
秋 子 好 也 子 好 也 好 也 好 也 好 也  
暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
身 乃 かり 眉 を 嘗 乃 すす み 外  
雛 子 鳴 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
入 お き 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
波 阿 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
暮 乃 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
鳴 子 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮

湖秋  
鵝十  
燕二  
素菊  
羽先  
畝司  
由司  
鷺舟  
左弓

暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
好 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
裕 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
炭 竈 乃 候 室 也 小 聖 の 夕 煙  
二 夕 路 に 目 一 所 也 蝸 牛  
雨 晴 一 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
暮 乃 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮  
暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮 暮

高陵  
竹茂  
素琴  
既弋  
其川  
二竹  
雨窓  
後日坊  
里琴  
時鳥

長岡

高陵



多行也と初き障子に 為睡り  
暁鐘に恨乃まゆか山さく  
名有也いけいふこととも  
有也日と初きいけいふこととも  
名有也いけいふこととも  
初き也いけいふこととも  
初き也いけいふこととも  
初き也いけいふこととも  
初き也いけいふこととも  
初き也いけいふこととも

精茂  
里稻  
為睡 地蔵町  
話友  
千丈  
母竹  
退歩  
一鳳  
河嵐 直江津

目とまのや 少き乃 塔すく  
ちとさくわ 清くも 名も初時  
初きふま 枯草乃 志も入  
昔人乃 名も 中に 名も  
くもはる 乃くも 名も  
名も 名も 名も 名も  
名も 名も 名も 名も  
名も 名も 名も 名も

菟由  
甚化  
似芳  
湖柳 浦本  
仙風 出雲崎  
春霄  
以南  
里幽  
玉枝



じき一聖也あまのこは寝る月の  
 桂敷も雪ふ 晒しきる乃月  
 月影如蠅乃去居もあまのこ  
 雨晴乃法也とめげき 枯野うま  
 空影也斗乃酒也あまのこ  
 風情あり菴乃朝也 白乃雪  
 赤橋にきる雷也神乃苗  
 神香也くけく程もぬ松乃く  
 吹とくも雪ふきく 蘭乃舞

柿崎  
 竹司

文牙

李柳

北耳

鷺天

早川  
 巴東

中島  
 泉柳

下越後  
 新発田  
 百鳳

桴仙

乃花也ききる葉ふくえ 舞代  
 一雪乃甚也通く 序乃舞  
 多仙也雪乃ふくくくくく  
 一露也終乃中くくくくく  
 袖くくくくくくくく 乃雪  
 月影也柳渡へくあらくくむき  
 月影也くくくくくくくく 乃月  
 弱き也柳葉枝 賣るくくく  
 晴初一日もくくくく 日影

二英

炎井

萬向

琴夕

廬柱

桂志

右兮

韋流

冬松

末枯如笑〜山も二夜目はく  
稿あけ如法製乃落如し〜す  
〜ち本如工更如書も今如乃終  
思ひ切〜時〜て〜も〜れ〜ま  
〜三葉如さ〜う〜落〜あ〜も〜う〜は  
〜ふ〜少〜多〜何〜所〜う〜〜ま〜く〜蝶〜一〜羽  
堂如被に〜は〜は〜心〜噴〜ひ〜ひ〜ひ  
〜〜ひ〜ひ〜ひ〜乃〜目〜和〜に〜は〜れ〜る〜聲  
初〜も〜如〜尾〜山〜と〜さ〜る〜う〜蝶〜一〜ひ

出哉  
山桂  
菊文  
里朝  
花友  
翠故  
二来  
二梅  
梅嶺

見附

〜あ〜ま〜ま〜ま〜〜葉〜ひ〜道〜は〜〜初〜月〜如  
〜葉〜も〜如〜布〜乃〜落〜玉〜如〜村〜志〜々〜れ  
〜川〜も〜乃〜終〜さ〜ら〜と〜如〜末〜枯〜聖  
〜も〜〜も〜〜も〜乃〜落〜名〜如〜外〜人  
山も終〜し〜る〜梅〜あ〜る〜終〜積〜し〜不〜言  
水仙如葉に〜見〜る〜う〜〜う〜香〜乃〜中  
幕如隣乃不始〜ら〜る〜人〜も  
終〜脱〜也〜乃〜程〜積〜る〜 只〜多〜す〜半  
淋〜し〜る〜鳥〜月〜と〜見〜る〜う〜〜う〜也〜多〜す〜半

梅天  
嵐二  
里朴  
盤鳴  
竹榮  
勿染  
竹和  
鳥笑  
鳥孝

加茂



けりささるる度わたりまゝも 系聖を  
船あさるるまゝもわたりまゝも 移乃  
踏わさるる踏わさるるにまゝも  
ふたねやまゝもわたりまゝも 移乃  
叶にまゝもあさるるにまゝも 移  
起さるる毎乃まゝもわたりまゝも  
掛あさるるまゝもわたりまゝも 移  
確也悟るるまゝもわたりまゝも  
まの法るるまゝもわたりまゝも

中条

杜語

湯川

桐左

筑地

兔六

村松

梅二

村上

梅鷲

井ノリ

倭從

加治津

竹明

野翠

知来

川柳

翠阿

田乃書わたりまゝもわたりまゝも 又

下りわたりまゝもわたりまゝも 在

新株乃少法わたりまゝも 畠

神書わたりまゝもわたりまゝも

稲書わたりまゝもわたりまゝも

畠人乃揮わたりまゝもわたりまゝも

相書わたりまゝもわたりまゝも

書りわたりまゝもわたりまゝも

書りわたりまゝもわたりまゝも

井ノリ

牧牛

加治津

野翠

川柳

川柳

鶴田

里仙

信止坊

信止坊

遊賞

遊賞

昌後

昌後

廬竹

廬竹

橘女

橘女

やれやと一ふ〜あわ〜まゆき

里帛

全

越中

まらねおちちになら〜もさ〜

今不勒

交琴

ひらひらさうわ〜あ〜あ〜あ

五芝

ねま乃月さ〜あ〜あ〜あ

高岡

娛友

あま自やきき〜水田に 隆 沉

九満

枯まにさるさる〜あまれさる

毛仙

ねえさ〜さす〜にね乃〜えい

文阿

振響〜あおね乃み〜あ〜あ

井波

敲下

山陰如雪乃中〜あ〜あ 夕 煙

嵯丈

湖〜さ〜ら〜む〜あ〜あ ね乃雪

雷波

あ〜〜あ〜ね乃中〜あ〜あ 那系小

文肅

山人〜はね〜あ〜あ ね乃さ〜あ

荻由

あ〜あ〜あ〜あ〜あ 乃さ〜あ〜あ 助時自

春池

陸史

何人乃さ〜あ〜あ 乃さ〜あ〜あ 乃月

居来

〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ 乃さ〜あ〜あ 乃月

大器

居寺乃さ〜あ〜あ 乃さ〜あ〜あ 乃月

滑川

史耕

〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ 乃さ〜あ〜あ 乃月

氷見

左礼

おそりし義和とささるるし御指  
 戸出 或静  
 梨乃ふもつとささるるし榎り草  
 八椿  
 さほえし一伏計乃言ささるるし  
 小杉 沙流  
 陽春に後あさるるし堤り草  
 我来  
 気程ささるるあさるるし新乃榎  
 鳥角  
 ささるるしと警信りしり降り毒  
 殊呂  
 加興  
 竹植乃唱りしと糸織ささるるの杖  
 玉斧

今

越前

船引と通しとささるるし柳り草  
 金津 以琴  
 秋高と用ありしと糸織ささるる  
 二逐  
 一也とささるるしと糸織ささるる  
 蕉雨  
 此真に海ありしと糸織ささるる  
 其龍  
 藤和好乃と糸織ささるるし柳り草  
 角鹿湊 六柯  
 ささるるしと糸織ささるるしと糸織  
 白鳥  
 ささるるしと糸織ささるるしと糸織  
 府中 之兆  
 喜乃と川ありしと糸織ささるる  
 梨一  
 ささるるしと糸織ささるるしと糸織  
 福井 可推坊

改汲乃ひもろふもろやね青  
房ち小きあまもろの汐干小

三國

山之

全

陸奥

入あに一日あまろろ汐干り草

白石

鼠月

お乃草や垣根一月の入あま

白川

屠龍

まゆあまもろあまろろ蛙り草

會津

竹里

そほふくろもろ日ともまろろ家

女

而后

下敷とろろ乃喚りもろふり草

可直

星乃新居もろ子乃ちるふ小

仙臺

大車

茶もろ世もろ庫裏(まろ)お鶴屋

大芝

朝もろもろ蔓もろもろ子乃ちる

菊史

あまもろもろもろもろもろ牡子小

菊夫

蝶もろもろもろもろもろ乃上

東鯉

家小に様もろもろもろもろ小

朱角

畑乃もろもろもろもろもろ梢り草

千賀浦

雨石

後ちもろもろ柳をゆもろもろあゆり草

福島

東吳

懐乃子にちもろもろもろもろ乃雛子

吞溟

経巻乃もろもろもろもろあゆり草

舟岡

也寥

てふもあはれいふも新乃風

新様も菴乃燈のほろも

神も何を務乃かたさう

新もいふもいふもいふも

雪もいふもいふもいふも

岩も焼乃すも飛乃新へ

も二揃新をわもわむと

踏もいふもいふもいふも

梅もいふもいふもいふも

おとこもいふもいふも

もいふもいふもいふも

け紫にかたもいふもいふも

新様もいふもいふもいふも

もいふもいふもいふも

もいふもいふもいふも

高帆もいふもいふもいふも

雪乃もいふもいふもいふも

雪乃もいふもいふもいふも

本松

古川

鼓岡

宮本

スカ川

郡山

鳥山

石巻

西坡

一聲

麥雨

竟志

鼠英

菊隠

青龍

英梅

桃祖

露秀

睡止

仙角

葛雅

呂竹

塞馬

一節

調佐

專黒





さく梅もかきく水程乃物さく  
 終見れぬあつこつさく 降ふ  
 涼風如松乃物いのおちくに  
 くらさく乃さくあつあつ夏の月  
 情しき物もさくさく 乃さく  
 玉柳如飯乃さくさく 乃さく  
 風乃さくあつ終のさくのさくさく  
 今 安房  
 天津 素竹  
 本庄 古雪  
 庄内 志逸  
 冨上 北而  
 仙甫  
 五雲坊  
 卧涼

夏梅をうけく入りやさく乃さく  
 梅さくあつあつ乃さくさくさく  
 さくさくに牡子乃さくさくさく  
 風終にさく乃さくさくさく 夏の月  
 さくにあつあつあつ 山田さく  
 さく乃乃二日あつあつさくさく  
 今 豊後  
 肥後  
 亀ヶ原 吐船  
 小川 以文  
 元岩 里仁  
 目田町 月人  
 月田町 月人

神尾小舟の里申し海心

宇都郡

一等人

合

筆を盗む者く 雅子 吟ぬ

松前

巴角

散梅如木も情も咲く旅人

甲府壘山下

信規

白き雲もくもく 朝車

引蝶

喜先キハ身乃少揚もまれく小

少年

静壽

弱きやも山路乃足重き

梅州

相いのしめたるも川

引蝶

経冊乃重きに重乃新く

川亭

梅も如竹研おめあれ

黒花

夏妙如耳とす世を心乃喜

明妙も月妙も下死後妙も

観も如も重踏も如新た

陽をわたのふももる 井の河  
静もる ねん向のよと 雅子のま  
侍ふたの母まきー 十二とね  
汐島へ 風お 浪のよとちり

祇郎

春乃梅も 徳いへし人か  
梅も 春乃 徳いへし人か

元貫

春乃梅も 徳いへし人か  
梅も 春乃 徳いへし人か

喬樹

春乃梅も 徳いへし人か  
梅も 春乃 徳いへし人か

李蹊  
岷水  
少年  
静壽

草花一葉の一本やまのりさるる  
涼しき月を後しそ若水  
女 亀文  
且見

明きや地つとみけそ禰外  
元くる舟を繋ぐけりる若菜外  
白晴乃朝に白えり柳うさ  
暁と暮るのちや猫乃思  
引蝶

雨さるをさるるさるるさるる  
麦舟の田も一面や禰月  
暮るやまのりさるるさるる  
山明や白ふりる若水乃夜  
暁のさるもさるる中へ離れ  
因西乃山も引るさるる  
及るるさるの若水さるる柳外  
さるるさるる牡丹乃十日  
さるる乃さるる目若水さるる



おとこくましく推家急野小  
に川くちと舟はまつく新を  
空ふちと柳をまつく後の月  
はあゆ中にたそあつこつは  
此のきやちのくち乃故一廻  
端娘乃古に居るは一葉外  
下河原松平一葉外時自うま  
あ引をきねにりるは夕時雨  
初雪も推く紙燭乃垣すく

瓢箪小月さくせよ 餅たれ  
うまをきくはさるち川あき  
時ふす小房くさるるをん小  
猫ハヤをたさるちもさるる  
紙屑ふすもまはる河を外  
鐘撞ふ撓るく 喉あき橋  
つさるく連る橋の山さるる

武藏野のちと猪乃座に月のち

甲府野上  
秀仙

追加

富士の峰に我あり 教樓  
 其も鏡研き 極乃先  
 富士の峰に我あり

甲ノ叙  
 河内国  
 行脚

五水  
 知堂  
 宇大

馬河

不

夏

信



大



一編五

後序

人の名利の爲小法このりや物々  
 いふはよき徳也や成る老れ  
 後之志何のなるぬあひぬらば  
 志を度の何のし、そのまゝの  
 集乃報を忍れと名と求らむも  
 あつた又利を貪たると何の守  
 きつ統深ともりのを死むやとらむ

新ぬ人への口寄せの書  
 法に依りて書く事  
 せんおのまに、  
 一はめてぬ人の  
 かゝる書巻乃志  
 馬の書物

手標皮鼓水



